

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	後発リンパ節転移ならびに遠隔転移をきたした早期舌癌に対するゲノム解析
	研究目的	手術を受けた早期舌癌の患者さんの中には、手術後にリンパ節転移や遠隔転移を起こして、予後が不良となる方がいます。その予後不良となる予測因子が明らかになれば、予防的に頸部のリンパ節を郭清する判断や、また後治療としての抗がん剤の有用性等の検討ができるようになるのではないかと考えています。そこで、この研究では、手術で切除した舌癌検体の遺伝子の変異や、遺伝子の発現を解析して、予後良好群と比べて、予後不良群にどのような特徴があるのかを検討します。
	研究対象者	2010年～2019年の間に、早期舌癌で根治切除術を受けた患者さん
	研究期間	西暦 2020年 8月 31日 ～ 西暦 2022年 3月 31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	橋本香里
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	頭頸部外科、臨床研究所、病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし